

琵琶湖森林づくり県民税の概要

1. 琵琶湖森林づくり県民税の使途の考え方

琵琶湖森林づくり条例の基本理念

森林の多面的機能が持続的に発揮される森林づくりに重点をおいた施策の推進
森林の恵みを等しく享受している県民全体が協働で取り組む森林づくりの推進

琵琶湖森林づくり県民税を充当する事業の基本的な考え方

事業効果が広く県民全体に及び公共性、公益性が高く、事業内容が県民にはっきりと見える事業であること。
県民の森林に対する理解や関心を深め、森林づくりへの参画意識の高揚に資する事業や、県民の主体的な参画による協働で森林づくりに取り組む事業であること。
新たな負担は、県・市町の公有林や造林公社営林地など公的に管理されている森林を除いた、私有林を対象とした森林づくりに充当すること。

琵琶湖森林づくり事業の内容【2つの柱と8つの事業】

(1) 環境を重視した森林づくり

琵琶湖と森林との環境を重視し、琵琶湖の水源かん養など森林の公的機能の高度発揮を目指す施策

[事業内容]

陽光差し込む健康な森林づくり事業
長寿の森奨励事業

森林を育む間伐材利用促進事業
里山リニューアル事業

(2) 県民協働による森林づくり

森林が琵琶湖と人々の暮らしと切り離すことができない県民共通の大切な財産であることから、県民が、森林について理解と関心を深め、主体的に参画し協働で森林づくりを推進するという新たな仕組みで森林づくりを支えていく施策

[事業内容]

協働の森づくりの啓発事業
みんなの森づくり活動支援事業

未来へつなぐ木の良さ体感事業
森林環境学習「やまのこ」事業

「琵琶湖森林づくり基本計画」の目標事業量などを踏まえて算出

年間標準事業費 約 6 億円

上記の考え方や充当事業の内容等を踏まえ

【琵琶湖森林づくり県民税条例】

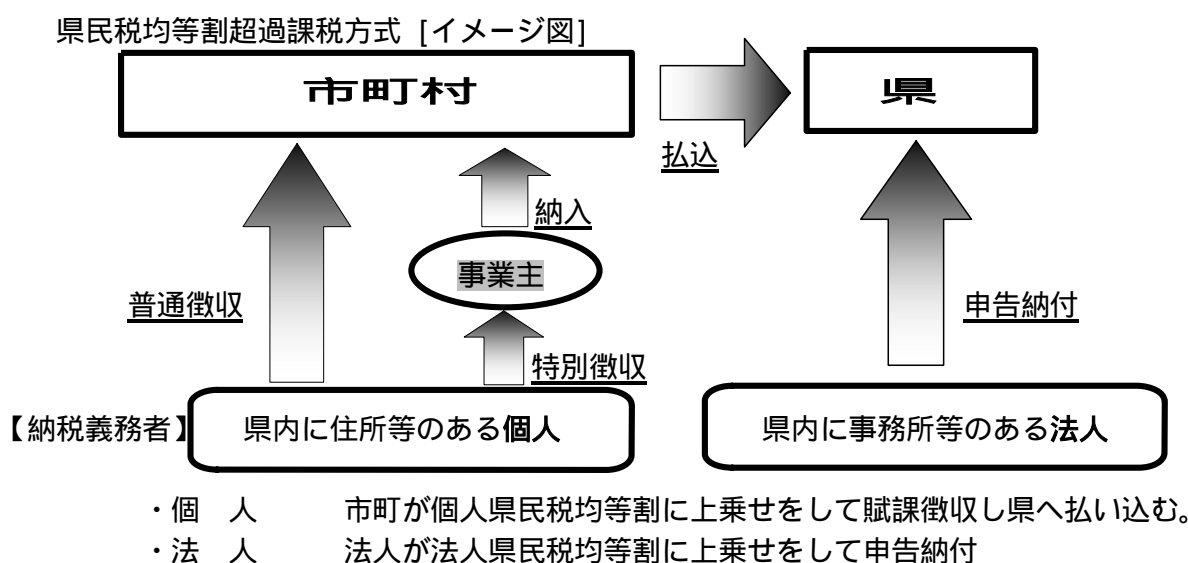
第1条 この条例は、琵琶湖の水源かん養、県土の保全等すべての県民が享受している森林の有する公益的機能の重要性にかんがみ、県民の理解と協力の下、公益的機能が高度に発揮されるような森林づくりのための施策を推進し、滋賀の森林を健全な姿で未来に引き継いでいくことが必要であることから、当該施策に要する経費の財源を確保するため、琵琶湖森林づくり県民税として、県民税の均等割の税率について滋賀県税条例の特例を設け、これに必要な事項を定めるものとする。

2. 課税方式

県民税均等割超過課税方式

県民税は、「地域社会の会費」という応益的な性格を有しており、また、均等割は、所得状況の大小に関係なく県民が広く均等に負担することから、県民税均等割に上乗せして徴収する「県民税均等割超過課税方式」の導入は、新たな視点に立つ森林づくりのために必要な費用を県民全体が等しく負担するという琵琶湖森林づくり県民税の趣旨に合致する。

また、既存の税制度を活用することから仕組みがシンプルで、徴税コストも新税創設よりも低く抑えることが可能である。更に、所得金額が一定金額以下の納税義務者は、非課税とする制度が設けられている。

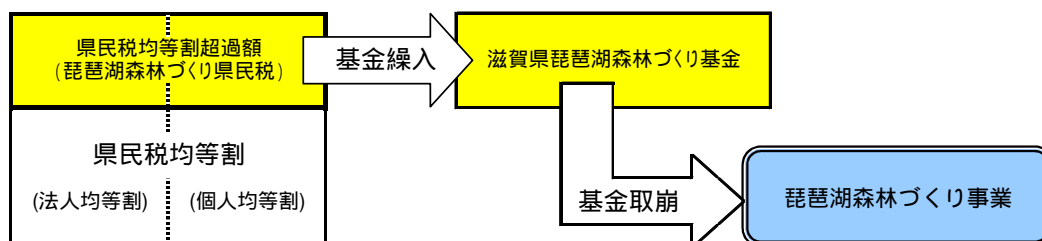


県民税均等割（個人）の非課税の範囲（地方税法第24条の5）

- ・ 生活保護法の規定による生活保護を受けている人
 - ・ 障害者、未成年者、寡婦または寡夫で前年の合計所得金額が125万円以下の人
 - ・ 前年の合計所得金額が市町村の条例で定める金額以下の人
- （例）大津市 $35 \text{ 万円} \times (\text{控除対象配偶者および扶養親族の数} + 1) + 21 \text{ 万円}$
 控除対象配偶者または扶養親族がいる場合に加算

ただし、県民税均等割超過課税方式は、用途が限定されない普通税であり、そのままでは徴収した税収が他の普通税と区分されないことから、新たな森林づくりのための財源に充ててを明確にするために「滋賀県琵琶湖森林づくり基金」を設け、その基金に税収を積み立てることとした。

琵琶湖森林づくり県民税の流れ [イメージ図]



3. 税率

県民税の個人分と法人分の税収割合が概ね 3 : 1 であることを考慮して設定。

(1) 個人県民税均等割

超過税率 年額 800円 (標準税率 1,000円)

ただし、以下の要件を満たす納税義務者については、次の措置を講じる。

【経過措置】

前年の合計所得金額が125万円以下で、かつ、平成17年1月1日現在で年齢65歳以上の者

⇒ $\left\{ \begin{array}{ll} \text{平成18年度超過税率} & \text{年額 200円} \\ \text{平成19年度超過税率} & \text{年額 500円} \end{array} \right\}$

(2) 法人県民税均等割

超過税率 均等割の11%相当額

資本金等の金額による区分	標準税率 (年額)	超過税率 (年額)
下記以外の法人 (均等割非課税法人除く)	20,000円	2,200円
1千万円超1億円以下	50,000円	5,500円
1億円超10億円以下	130,000円	14,300円
10億円超50億円以下	540,000円	59,400円
50億円超	800,000円	88,000円

4. 制度の見直し

施行後5年を目途として、条例の施行状況、社会経済情勢の推移等を勘案し、必要があると認めるときは、条例規定について見直しを行う。

5. 琵琶湖森林づくり県民税の収入状況 (平成18年度～平成21年度)

単位：千円、%

	平成18年度 決算額	平成19年度 決算額	平成20年度 決算額	平成21年度 決算額(見込)	計
琵琶湖森林づくり県民税	482,673	658,934	680,333	683,245	2,505,185
個人県民税均等割分	453,349	512,062	526,905	533,198	2,025,514
法人県民税均等割分	29,324	146,872	153,428	150,047	479,671
基金積立額 (A)	441,005	624,291	679,317	648,828	2,393,441
琵琶湖森林づくり県民税	438,800	622,100	675,600	646,100	2,382,600
寄附金	2,205	1,000	0	694	3,899
財産収入	0	1,191	2,386	2,034	5,611
諸収入	0	0	1,331	0	1,331
琵琶湖森林づくり事業費	350,941	519,975	669,285	702,830	2,243,031
国費充当	0	0	82,075	96,870	178,945
基金充当 (B)	350,941	519,975	587,210	605,960	2,064,086
基金残額 (A) - (B)	90,064	104,316	92,107	42,868	329,355
(累計)	90,064	194,380	286,487	329,355	
基金利用率 (B)/(A)	79.6	83.3	86.4	93.4	86.2
琵琶湖森林づくり県民税 利用率	80.0	83.6	86.9	93.8	86.6

県民税から徴税経費（県民税の7%）を控除した額を基金に積み立てるとともに、前年度の税収確定分はその次年度に積み立てることとなるため、同一年度の県民税と県民税基金積立額は同額にはならない。